

つながるスイッチ!! 久留米市社会福祉協議会

vol.30

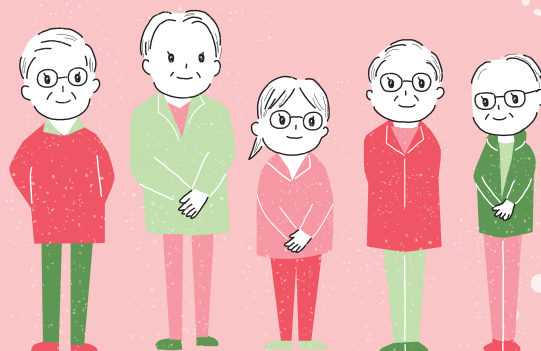
支え合い推進会議—その⑬—「御井校区」の取り組み

「ささえあい御井」活動の

その後は?

活動してどうだった?

約3年前からの2度目の取材、
座談会を開催しました!



つながるスイッチvol.3で取材した「御井校区」。御井校区では、高齢者に困りごとアンケートを行い、担い手も募集。令和4年から、ゴミ出し支援を中心に「ささえあい御井」の活動をスタートさせています。

今回は、全16自治区のうち、実際に活動を開始した5つの自治区の皆さん(中ノ丁西、矢取東、矢取西、旗崎東、宗崎)に集まっていただき、活動の現状、これからのことについてお聞きしました。

御井校区まちづくり振興会

会長 中園 澄男さん
(矢取東自治会長)

中ノ丁西自治会

副会長 井上 隆夫さん

ふれあい御井の会

会長 立石、初美さん
(矢取西自治会)

旗崎東自治会

会長 首藤 美満さん

宗崎自治会

会長 内山 高一郎さん

御井校区まちづくり振興会

事務局 長 落合 信孝さん

「ささえあい御井」活動を始めてから数年が経ちました。活動してどうでしたか?

● 中園さん(矢取東)

ゴミ出し支援を中心に進めました。担い手の応募もありましたが、ゴミ出しを手伝ってほしいという希望者と、担い手との住んでいる場所が遠く、うまく合わないことが多かったです。「ささえあい御井」を利用しなくても、隣近所で自然に声をかけあいゴミ出しの手伝いをしていくという話も聞きました。

● 井上さん(中ノ丁西)

活動をスタートさせた時は、16の全自治区で活動することが目標でしたが、自治会それぞれにやり方があり、活動するかどうかは、それぞれの自治会に任せようとなりました。ゴミ出し支援の他に何かできることはないかを考え、空き家を借りて中ノ丁西自治会独自の「いきいきサロン」を開設しました。

● 立石さん(矢取西)

現在の利用者は5、6名、ボランティア(担い手)は約19名登録してくれています。活動する中で、お金のやり取りが定期的に発生するのが大変だという意見が多く出ました。今は、半年に1度開催する意見交換会の際にまとめて持ってきてもらうようにしています。活動を継続していく中で、少しずつ進めやすい方法が見えてくるようになりました。また、ボランティア活動に対する活動費を受け取らない担い手さんの分について

は、わずかですが地域内の児童養護施設に寄付をしています。施設の人からは「地域の皆さんに気にかけてもらえることが嬉しい」という声をいただきました。

「ささえあい御井」の活動が、新たな地域の輪・つながりにもなっています。活動は、地域内のイベントなど人が集まる場所で声かけをしています。実際に今すぐ支援が必要でない人も、いざという時には頼れる場所があることを知ってもらい、この校区に住むことへの「安心」にもつながればいいなと思います。

● 内山さん(宗崎)

前自治会長の際にこの取り組みが始まりました。宗崎では、ゴミ出し支援の活動が少し行われている程度です。活動のPRが足りないと感じています。今年は年2回PRを行い、同時に担い手の募集も行いました。無理はせず、地道に進めたいと思います。

● 首藤さん(旗崎東)

誰が活動の舵を取って行こうか曖昧で、動ける人がいませんでした。会計や調整役をきちんと決めて組織化することが大事だと思いました。自治区内の住民には、困りごとアンケートに加え、直接聞き取りをしたところ、ゴミ出しに困っている人はいたのですが、すでに近所の人に助けてもらっているとのことでした。

● 立石さん

矢取西では、新たな組織化はもちろん、今ある仕組みの中で無理のない範囲で動けるようにしたことも活動につながった1つの要因だったと思います。

「これから」に向けて

● 中園さん

住民は70代が増え、御井校区も高齢化が進んでいます。なかなか担い手側も揃いません。若い世代の人たちの地域づくりの意識を育てていけたらと思っています。校区全体で「支え合い」をしていきたいです。

● 井上さん

各自自治会それぞれが検討しながら試行錯誤活動してみても、できることをできる範囲で進めていくことが大切です。校区に困っている人がいるのは間違いありません。活動を通して、情報を適切に伝えることの重要性、共助の必要性を痛感しました。どのように伝えたら伝わるか、支援を必要とする人の声にしっかり耳を傾けていきたいです。

● 立石さん

無理すると続きません。活動の枠にこだわらず、ご近所同士、自然と支え合うような、気にかけるような校区になってもらえるのが理想です。矢取西自治区は、会としての買い物支援は難しいと判断しました。現在は、ご近所対応しているの、それで良いかなと思います。また、高齢者だけでなく働く世代も困っているという意見もあります。様々な世代の住民の困りごとに対応していきたいです。民生委員さんたちが住民の情報を持っているの、連携を取りながら進んでいきたいです。

● 内山さん

宗崎自治区ではゴミ出し支援はあまりニーズがありませんでした。ただ先程お話ししたように、PR不足も大きいと思います。チラシ

を作成していきいき

サロンなど人が集

まるところに配り

たいと思います。

● 首藤さん

組織づくりが一番大切だと思います。自治区内では空き地に雑草が生い茂ってどうしようもないところがあります。草刈り・草取りに困っている人が多い

ので、今後、支援できるように取

組みたいです。また、生活支援だけ

でなく、他にも検討が必要ではない

でしょうか。災害時の要支援者を

どのように対応していくか、大きな

課題だと思っています。

● 落合さん

「ささえあい御井」の活動を組織化させることが大切です。矢取西自治区は活動がうまくまわっています。矢取西自治区の良い部分を取り入れながら、会長、自治会長を中心に組織づくりを見直すことで良くなっていくのではないのでしょうか。個人に負担がかかりすぎないように、みんな一緒に校区を盛り上げていきたいです。

取材を終えて

一度取材をさせてもらい、その後の経過、結果、そして皆様の考えを再度お聞きできた貴重な取材の時間でした。約3年前は、自治区全部での「ささえあい御井」活動を目指されていましたが、それぞれの事情を汲み取り、無理やり足並みを揃えなくても、できることをしていこう！と、前向きに各自自治会が取り組まれていたのが印象的でした。課題も見え、また新しく進めようとしている御井校区の皆様が頼もしかったです。

- 実際に活動していたのは5自治区。その中でも「矢取西自治区」は現在も積極的に活動中
- ゴミ出し支援だけでなく、買い物支援、草刈り・草取り支援も取り組みたい
- PR不足はチラシを作り告知していきたい
- 情報を持っている民生委員さんと連携をとって活動する。ただ民生委員さんに負担を負わせすぎないようにする。きちんと組織化することが大切



井上 隆夫さん 首藤 美満さん 立石 初美さん 中園 澄男さん 内山 高一郎さん

久留米市社会福祉協議会

〒830-0027 久留米市長門石1-1-34

TEL: 0942-34-3035

FAX: 0942-34-3090

メール: heartful@heartful-volunteer.net

H P: <http://www.heartful-volunteer.net>

久留米市社会福祉協議会 検索

webサイト

[note一つくる、つながる、とどける。]で「つながるスイッチ!!」を検索してください!

#久留米市 #社協 #地域 #福祉 #地域福祉 #支え合い #生活支援 #地域づくり



つながるスイッチ!!はHPでもwebマガジンでも掲載中